

TOKYOink

2019年3月期 決算補足説明資料

2019年5月15日決算発表
東京インキ株式会社

1. 当期連結業績のハイライト情報

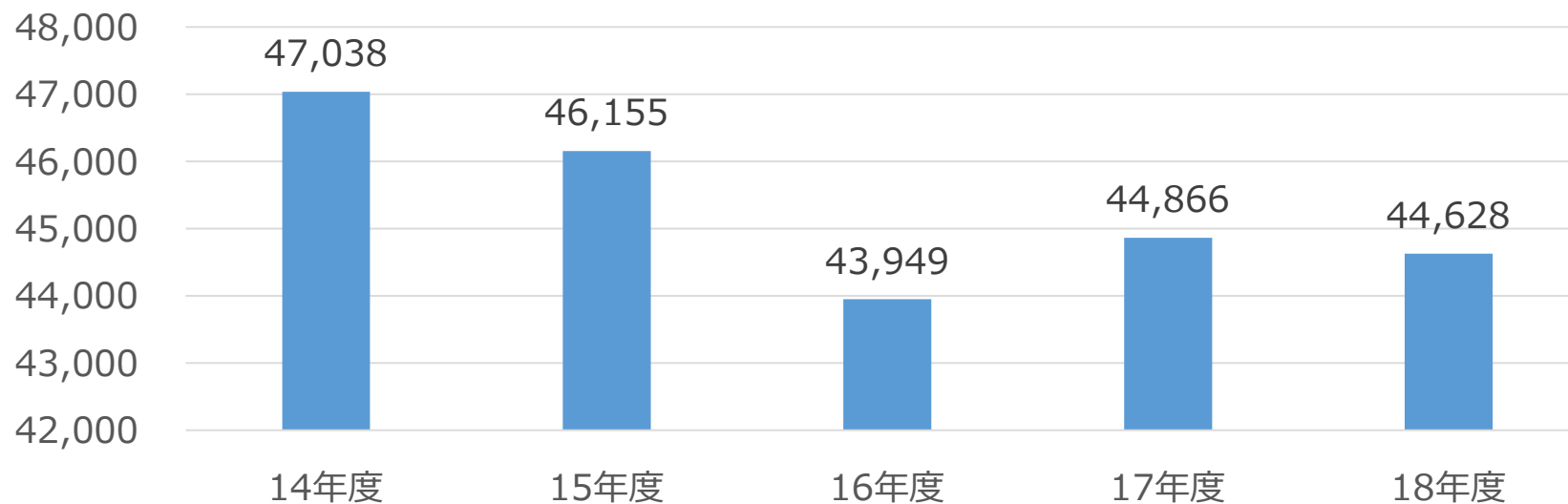
(1) 2019年3月期(第147期)決算 連結損益計算書

単位：百万円/切捨て

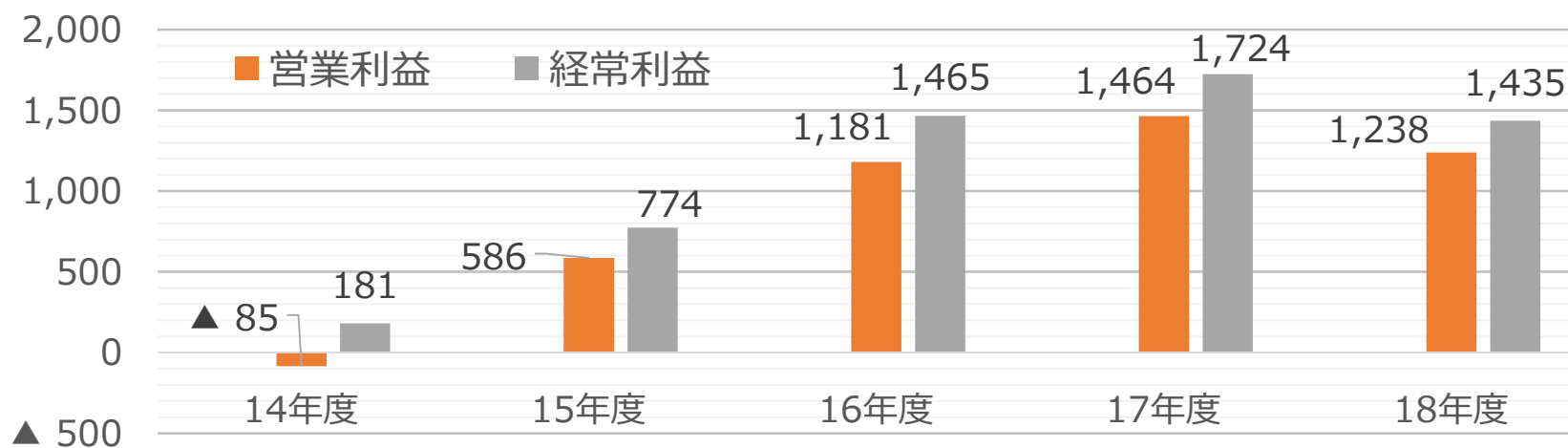
	前連結 会計年度	構成比 (%)	当連結 会計年度	構成比 (%)	増減	増減率 (%)	業績予想 18年5月15日発表	増減
売上高	44,866	100.0	44,628	100.0	▲237	▲0.5	45,000	▲371
売上原価	37,351	83.3	37,416	83.8	65	0.2	—	—
売上総利益	7,514	16.8	7,212	16.2	▲302	▲4.0	—	—
販売費及び一般管理費	6,050	13.5	5,973	13.4	▲76	▲1.3	—	—
営業利益	1,464	3.3	1,238	2.8	▲225	▲15.4	1,100	138
経常利益	1,724	3.8	1,435	3.2	▲289	▲16.8	1,300	135
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,157	2.6	1,012	2.3	▲145	▲12.5	920	92

単位：百万円/切捨て

通期 連結売上高 推移

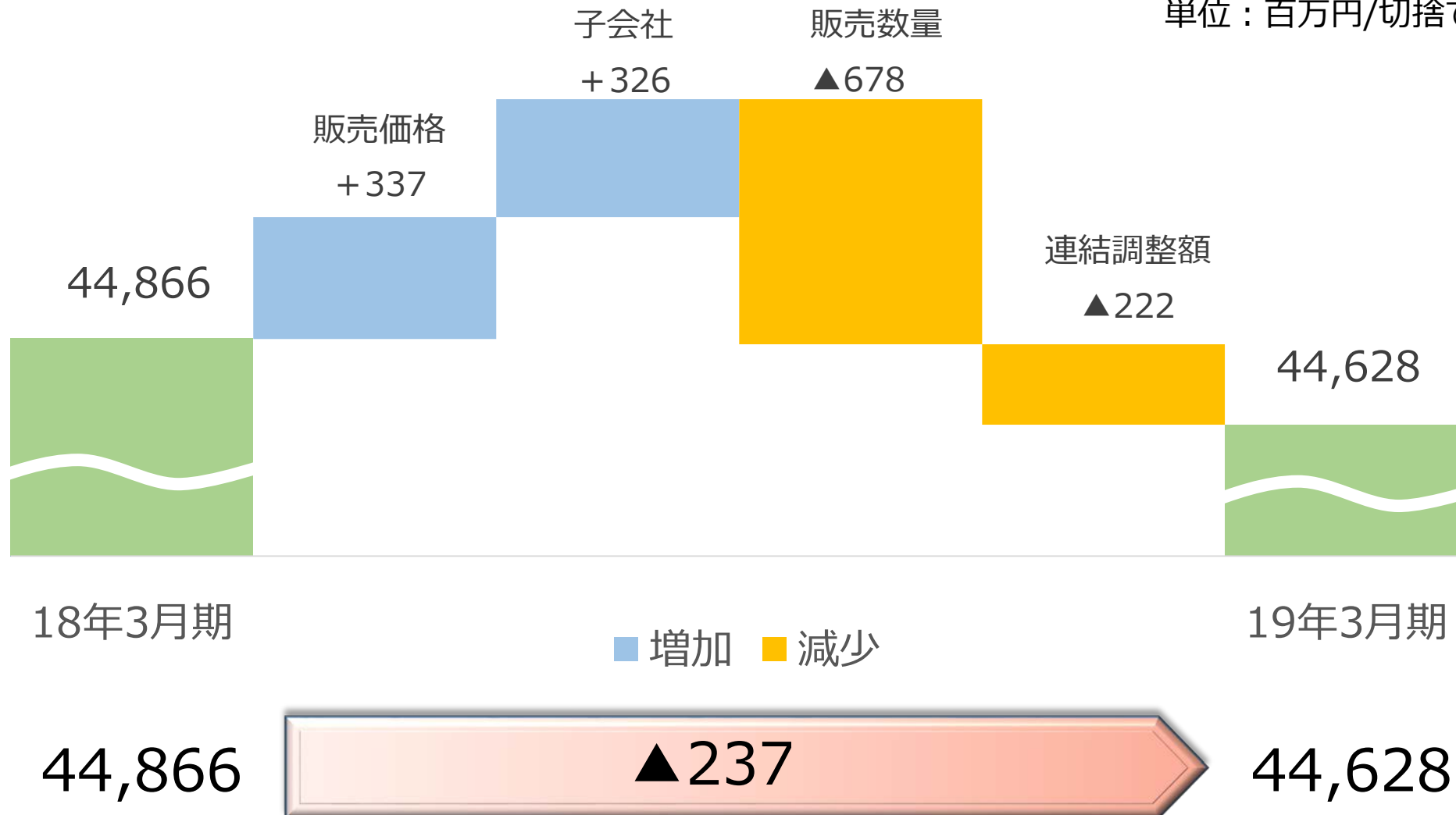


連結営業利益・連結経常利益 推移



[連結決算] 売上高 要因別増減

単位：百万円/切捨て



◆個別売上高 セグメント別分析(前年比)

単位：百万円/切捨て

	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産事業	計
数量差	▲485	▲48	▲146	2	▲678
売値差	▲99	369	67	－	337
合計	▲585	321	▲79	2	▲340

- ・インキ事業は主力のオフセットインキ、グラビアインキとも数量、売値が減少
- ・化成品事業は数量減となるも売値アップでカバー
- ・加工品は数量減を売値でカバー出来ず

◆ 営業利益 補足説明

単位：百万円/切捨て

	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減	増減率(%)
営業利益	1,464	1,238	▲225	▲15.4

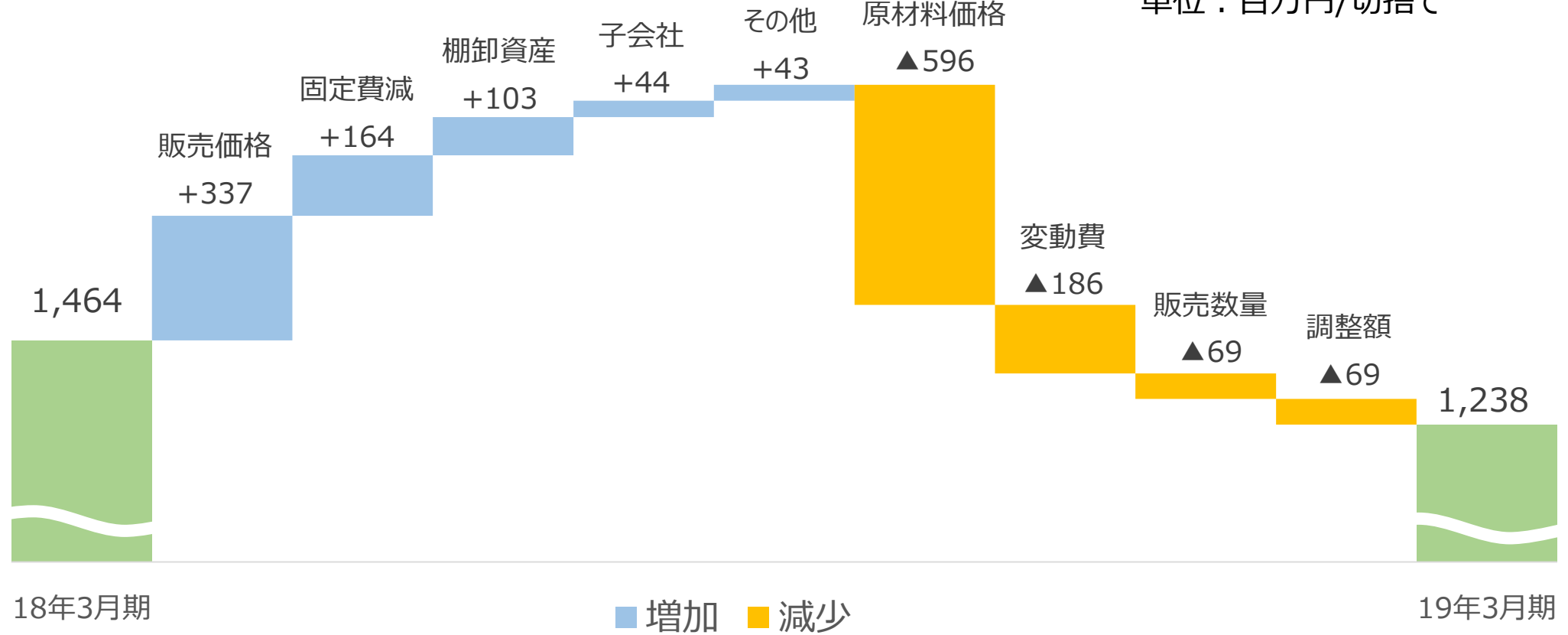
◆ 内訳

会社名	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
東京インキ（個別）	1,442	1,242	▲200
連結子会社	▲39	5	44
※連結調整	+61	▲8	▲69
計	1,464	1,238	▲225

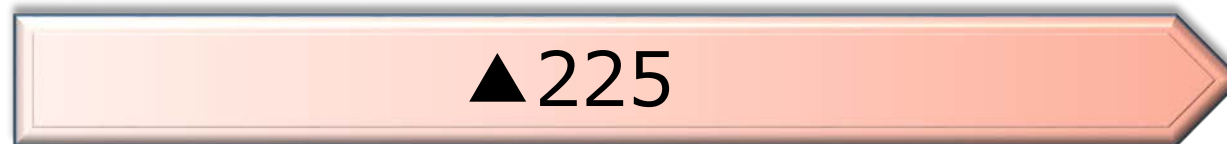
・当連結会計年度の連結子会社増加の要因は「タイ連結子会社」の業績アップ

[連結決算] 営業利益 要因別増減

単位：百万円/切捨て



1,464



1,238

◆事業別セグメント情報サマリー

セグメント売上高

セグメント利益

単位：百万円/切捨て

報告セグメント	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減	増減率 (%)	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減	増減率 (%)
インキ事業	15,185	14,604	▲581	▲3.8	499	502	2	0.6
化成品事業	21,240	21,669	429	2.0	2,031	1,938	▲93	▲4.6
加工品事業	8,140	8,053	▲86	▲1.1	551	486	▲64	▲11.7
不動産賃貸事業	299	301	2	0.7	157	125	▲32	▲20.6
セグメント合計	44,866	44,628	▲237	▲0.5	3,240	3,052	▲187	▲5.8
全社費用他 ※					▲1,776	▲1,813	▲37	—
連結営業利益					1,464	1,238	▲225	▲15.4

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費
前期、当期ともにセグメント区分の一部組替

◆事業別セグメント情報
セグメント売上高 1～4四半期推移

単位：百万円/切捨て

報告セグメント	第1四半期 18/4～6	第2四半期 18/7～9	第3四半期 18/10～12	第4四半期 19/1～3	当連結会計年度計 18/4～19/3
インキ事業	3,783	3,435	4,007	3,377	14,604
化成品事業	5,491	5,167	5,576	5,433	21,669
加工品事業	1,828	2,120	2,146	1,957	8,053
不動産賃貸事業	75	75	75	74	301
セグメント合計	11,179	10,799	11,806	10,843	44,628

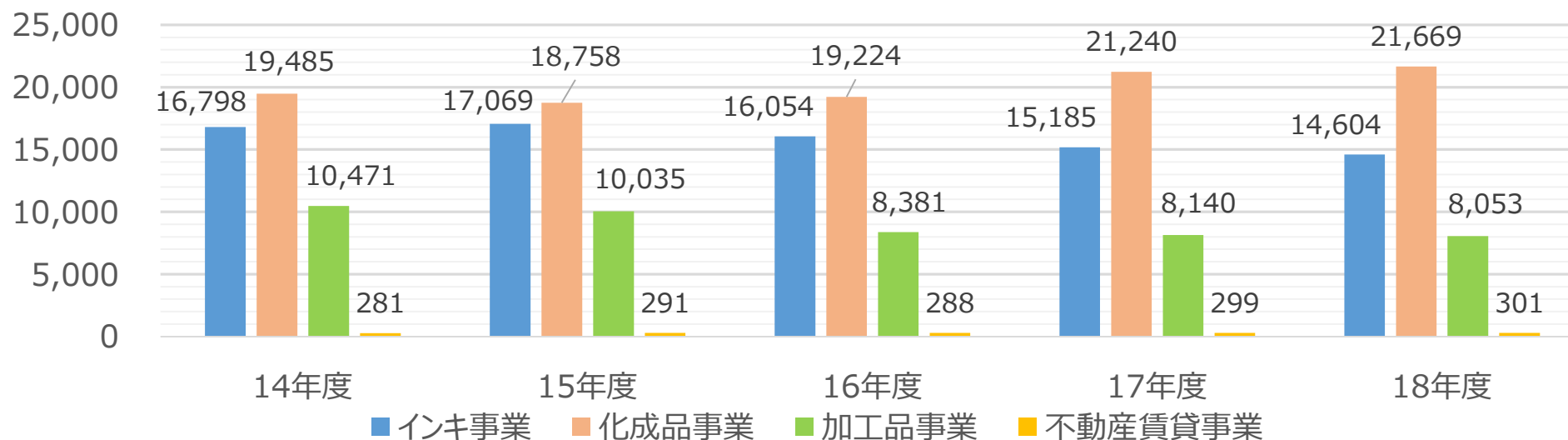
◆事業別セグメント情報
セグメント利益 1～4四半期推移

単位：百万円/切捨て

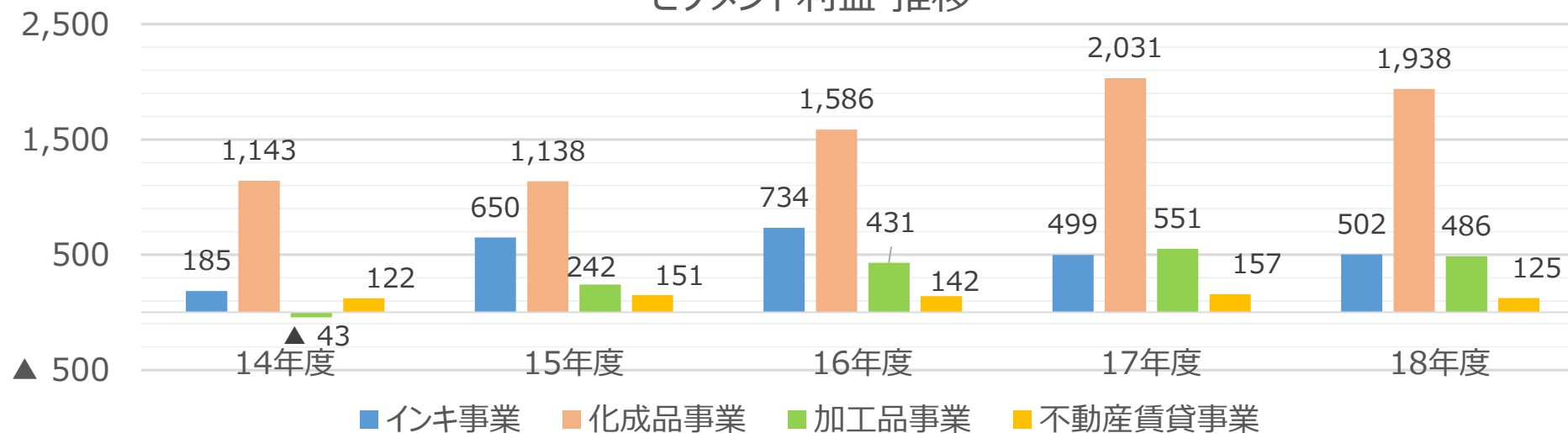
報告セグメント	第1四半期 18/4～6	第2四半期 18/7～9	第3四半期 18/10～12	第4四半期 19/1～3	当連結会計年度 計 18/4～19/3
インキ事業	50	28	216	206	502
化成品事業	499	445	519	472	1,938
加工品事業	86	156	119	124	486
不動産賃貸事業	41	6	34	42	125
セグメント合計	678	638	890	845	3,052
全社費用他	▲434	▲421	▲463	▲493	▲1,813
連結営業利益	244	216	427	351	1,238

セグメント売上高 推移

単位：百万円/切捨て



セグメント利益 推移



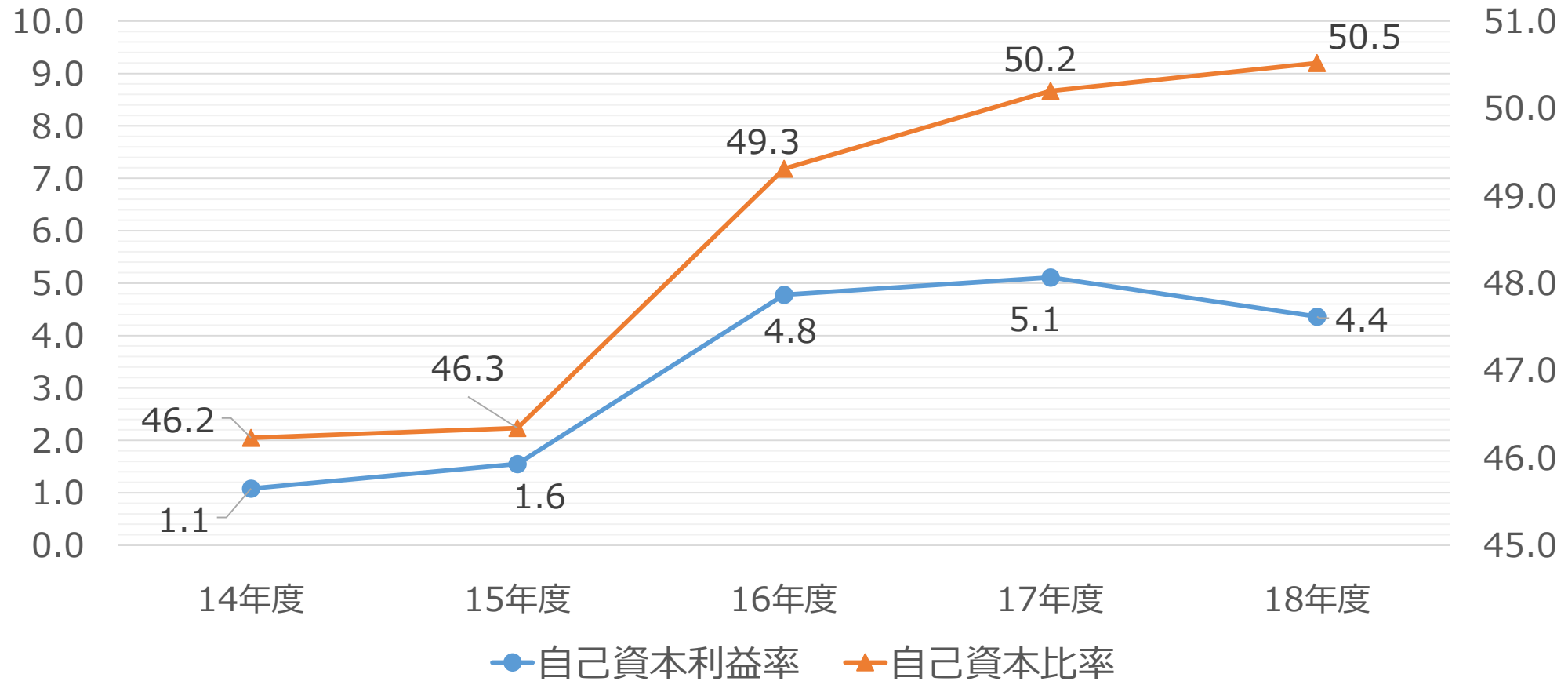
(2) 2019年3月期(147期)決算 連結貸借対照表

単位：百万円/切捨て

	前連結 会計年度末	当連結 会計年度末	増減	増減率 (%)
流動資産	26,623	27,077	454	1.7
固定資産	19,867	18,745	▲1,121	▲5.7
資産合計	46,490	45,822	▲667	▲1.4
流動負債	17,843	17,305	▲538	▲3.0
固定負債	5,173	5,224	50	1.0
負債合計	23,017	22,530	▲487	▲2.1
純資産合計 (自己資本比率)	23,472 (50.2%)	23,292 (50.5%)	▲180 (+0.3%)	▲0.8 -
負債・純資産合計	46,490	45,822	▲667	▲1.4

◆自己資本利益率(ROE) 自己資本比率 推移

単位：%



2. 今後の見通し(各事業)

- <原材料価格> 樹脂、溶剤 ⇒ 原油価格動向に依存しており、先行き不透明
顔料等 ⇒ 世界的な環境規制等により価格上昇継続
- <生産基盤の構築> 生産拠点再構築着手中
インキ事業：将来を見据えた生産体制見直し
化成品事業：生産設備増強(新規ライン導入・新建屋建設準備)
加工品事業：当社技術、ノウハウを活かしたモノづくり体制、生産設備増強

<インキ事業>

- ・オフセットインキ ⇒ 印刷市場の縮小継続の中、事業の「選択と集中」を推進させ、勝ち残れる最適な事業体制へ変革中
 - ・グラビアインキ ⇒ 機能性等を軸に戦略製品・差別化製品の開発、販売の強化マーケティング等新戦略による市場拡大に注力
 - ・インクジェットインク ⇒ 高成長事業の更なる拡大、新製品探索に向け、市場アピール
- ★**グラビアインキ、インクジェットインク等成長・拡大製品群を開発製品と位置づけ、新組織「市場開発本部」にて新規市場、利益訴求体制構築へ**

2. 今後の見通し(各事業)

<化成品事業>

- ・事業領域の拡大 ⇒ 生産設備増強により新規案件受注獲得へ
既存領域との共有度が高い周辺事業領域へ参入：機能性、医療、光学製品領域へ
事業展開を加速 → 生産・技術の高度化
- ・原材料価格(樹脂・顔料等)上昇への対応 ⇒ 製品価格改定の効果徐々に発揮
- ・バイオマス・生分解樹脂用マスターバッチの拡充 ⇒ 環境負荷低減ニーズや生態系保護に対応した製品開発を加速
- ・新規生産設備の増強 ⇒ 土岐工場(岐阜県土岐市)吉野原工場(埼玉県さいたま市)へ
新規ライン増設、新規案件の受注により増産体制確保
- ・メイン工場である吉野原工場(埼玉県さいたま市)の将来構想具現化に向けて、設備のスクラップ&ビルド順次検討
- ・競争力のある生産ラインの構築 ⇒ 大阪工場(大阪府枚方市)新建屋の建設準備中、
ライン自動化推進、次世代のモノづくり体制構築 → 2020年の竣工を目指す

2. 今後の見通し(各事業)

<加工品事業>

- ・ネトロン工材の水処理用資材 ⇒ 海外向け大型需要の取込と改良製品の市場投入により差別化・市場優位性確保へ
- ・ネトロン包材 ⇒ 流通向け食品包装資材の拡大、生産設備増強(子会社)による増産体制確保、新規顧客との取引開始により増販、収益力強化
⇒ ネトロン工材・包材ともに既存品の新規用途探索、新規ニーズ獲得による競争力向上指向
- ・一軸延伸フィルム ⇒ 食品用途以外の産業用途向け需要開発推進、生産性向上、生産体制見直しによる収益力強化
- ・土木資材 ⇒ 「テラセル」、高付加価値品「グランドセル」での新工法開発による差別化、各種土木学会・新技術発表会での工法普及アピール
災害エリアへの優先対応、資源集中による案件確保
- ・農業資材 ⇒ 多層断熱被覆資材「エナジーキーパー」の認知度アップに向けてマーケット訴求 → 信頼性や採用事例を増加させ、農材メーカーとしてのプレゼンス発揮へ

3. 次期の見通し（2020年3月期 連結業績予想）

単位：百万円/切捨て

通期業績	当期実績	次期予想	増減率(%)	第2四半期予想
売上高	44,628	47,000	5.3	22,800
営業利益	1,238	1,250	0.9	430
経常利益	1,435	1,400	▲2.4	500
親会社株主帰属 当期純利益	1,012	1,000	▲1.3	355
一株当たり 当期純利益	円 銭 374.82	円 銭 370.06	—	円 銭 131.37

◇売上高 ⇒ 増収見込み

◇営業利益

- ・インキ事業 ⇒ 印刷市場における商業・出版印刷の減少に起因した競争激化
- ・原材料価格 ⇒ 世界的な環境規制等により価格上昇継続

4. 次期配当予想

	第2四半期末	期末	合計	配当性向 (連結)
2020年3月期(予想)	円 銭 40.00	円 銭 40.00	円 銭 80.00	21.6%

◇配当政策 ⇒ 株主価値向上と安定的かつ継続的な利益還元

◇1株当たり80円を予定

5. 株主優待制度導入について

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有いただくことを目的として、株主優待制度を導入

毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1单元（100株）
以上を保有する株主様を対象

優待内容：オリジナルクオカードを贈呈

(注)業績見通し・配当予想等の将来に関する記述について
本資料に記載の業績見通し等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上